

# 令和5年度予算の概要 — 水道事業会計 —

## 1 予算編成の基本方針

水道事業では、40年先の将来像を見据えた「あますいビジョン2029」(令和2～11年度)に基づき、将来においても安定的に事業を継続していくための取組を進めています。

ビジョンの4年目である令和5年度におきましては、老朽化した配水管の計画的更新及び耐震化、配水ブロック化に引き続き取り組むとともに、避難所等への応急給水栓の設置や地域と連携した訓練などの取組を重点化して予算編成を行いました。また、ICT等を活用したお客さまサービスの向上と業務の効率化をめざした取組の検討を進めるほか、令和12年度以降に配水場化を予定している神崎浄水場の再整備については、中央管理棟や配水ポンプ棟の建替え等に伴って官民連携(PPP/PFI)手法の導入可能性を検討するなど、基本計画の策定を進めてまいります。

## 2 予算の規模

(税込、単位:千円)

区 分		令和5年度	令和4年度	増減額	増減率	
収益的 収支	経常 損益	収入	9,694,210	9,657,896	① 36,314	0.4%
		支出	8,892,842	8,880,965	② 11,877	0.1%
		差引	801,368	776,931	24,437	
	特別 損益	収入	1	1	0	0.0%
		支出	5,034	5,034	0	0.0%
		差引	△ 5,033	△ 5,033	0	
合 計 (当年度純利益)		796,335 ③ (591,634)	771,898 (572,465)	24,437 (19,169)		
資本的 収支	収入	822,104	743,737	④ 78,367	10.5%	
	支出	3,596,014	3,307,320	⑤ 288,694	8.7%	
	差引	△ 2,773,910	△ 2,563,583	△ 210,327		
補てん財源		2,215,257	2,169,730	45,527	2.1%	
資金収支	年間	△ 558,653	△ 393,853	△ 164,800		
	累計	⑥ 5,833,523	6,392,176	△ 558,653		
企業債残高		11,975,310	12,338,405	△ 363,095		

収益的収入では、給水量が前年度に比べ1.5%減少し、給水収益は6千万円減少すると見込んでいますが、大型マンションの新築戸数の増加による分担金収入の増加などから、収入全体で4千万円増加(①)する見込みとなっています。一方、収益的支出では、電気料金の高騰に伴う動力費の増加や、修繕費及び委託料などの物件費の増加などにより、支出全体で1千万円増加(②)するものの、令和5年度の純利益は、前年度に比べ2千万円増となる5億9千万円(③)を見込んでいます。

次に、資本的収入では、水道業務システムの更新に伴う下水道事業会計からの負担金の増などにより、前年度に比べ8千万円の増加(④)を見込んでおり、資本的支出では、水道業務システムの更新費用の増加などにより、2億9千万円の増加(⑤)となっています。

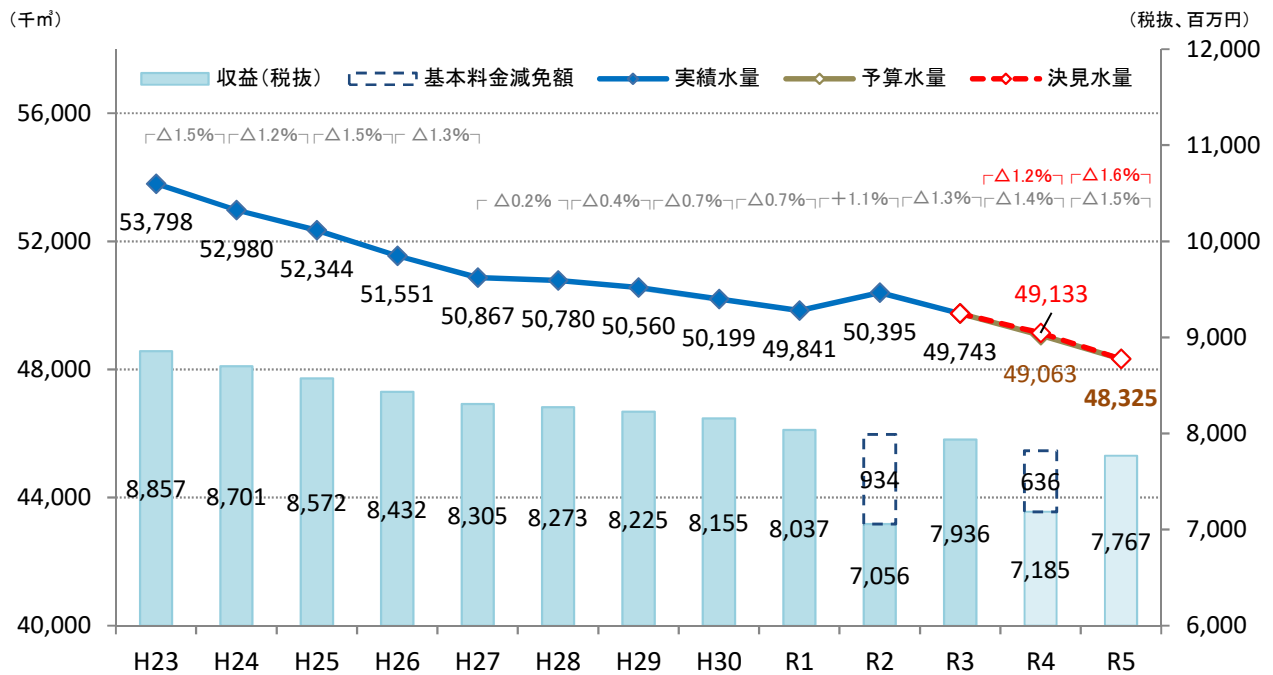
資金収支については、年度末の資金残高が、58億3千万円(⑥)となる見込みです。

### 3 業務の予定量

区分	令和5年度	令和4年度	増減	増減率
給水戸数	250,400 戸	248,800 戸	1,600 戸	0.6 %
配水量※1	年間総量	52,137,000 m <sup>3</sup>	△ 796,000 m <sup>3</sup>	△ 1.5 %
	一日平均	142,451 m <sup>3</sup>	△ 2,571 m <sup>3</sup>	△ 1.8 %
給水量※2	年間総量	48,325,000 m <sup>3</sup>	△ 738,000 m <sup>3</sup>	△ 1.5 %

※1 配水量＝浄水場から市内へ送り出される水の量  
 ※2 給水量＝お客さまが実際に使用する水の量

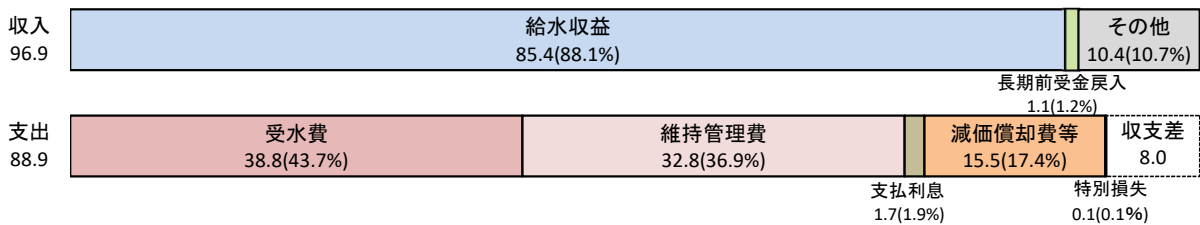
#### 《給水量及び給水収益の推移》



### 4 予算の構成

#### (1) 収益的収支 (事業管理・運営にかかわる収支)

税込、単位: 億円、( )内は構成比



#### (2) 資本的収支 (施設の建設・改良などにかかわる収支)

